

科目分類	基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	コミュニケーション論 I (人間関係基礎論と技法)	学 期	後 期	安部 利一(臨床心理士) 14 時間 峯尾 まゆみ(看護教員) 16 時間
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	看護における人間関係と対人援助の方法的基盤である「人間関係」について学び、その形成や円滑なコミュニケーションに必要な基礎的な理論・技術について学ぶ。			
目 標	1. 人間関係の意義と社会的行動について理解する。 2. 人間関係の形成とコミュニケーション理論・技法の関係を理解する。 3. 看護での対象の反応や行動を理解し、人間関係を成立させるための知識・技術を習得する。 4. 自分を取り巻く人間関係の成り立ちを理解し人間関係を調整するための時価の姿勢・態度のあり方を理解する。			
授 業 計 画	担当教員：峯尾 まゆみ			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	I. コミュニケーションとは	コミュニケーションとは	講義/演習
	2	II. 対人関係プロセスとしての看護	(1) 看護師と患者の関係 (2) 対人関係の成立に不可欠な要件 ・自己理解と他者理解	講義/演習
	3	III. コミュニケーションのプロセスに影響する要因	人間関係と空間 ・対人距離とコミュニケーション (パーソナル・スペースなど)	講義/演習
	4	IV. 医療における信頼関係とコミュニケーション①	信頼関係の基本であるコミュニケーション (1) コミュニケーションの技法 (2) アサーティブなコミュニケーション	講義/演習
	5	IV. 医療における信頼関係とコミュニケーション②	(3) リフレーミング (4) ユマニチュード (Humanity)	
	6	IV. 医療における信頼関係と	コミュニケーション	演習
	7	コミュニケーション③		
8	V. 看護理論とコミュニケーション	(1) 看護理論 (2) プロセスレコードの活用 1) プロセスレコードとは 2) プロセスレコード活用の目的 3) プロセスレコードの記述方法	講義/演習	

		担当教員：安部 利一（臨床心理士）	
授業計画	回数	単元項目	内容 授業形態
	9	人間関係論とは	人間関係の発達 講義
	10	対人関係と役割	対人関係の成立、対人関係の維持と崩壊 講義
	11	態度と対人行動	態度変化、説得的コミュニケーション、攻撃、援助 講義
	12	集団と個人	集団の特性と課題遂行、集団での問題解決と意思決定、リーダーシップ 講義
	13	カウンセリング	カウンセリングの理論と看護への応用 講義
	14	心理療法	心理療法と看護への応用 講義
	15	家族を含めた人間関係 地域をつくる人間関係	家族関係論、家族看護の展開、さまざまな状況・患者と家族の看護 講義 個人を取り巻く人間関係、人間関係の集合としての地域の力、人間関係の力が最大になる社会 講義
教科書	新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ（メヂカルフレンド社） 看護技術プラクティス第4版（学研メディカル秀潤社） 系統看護学講座 人間関係論（医学書院）		
参考文献	看護 形態機能学 生活行動からみるからだ（日本看護協会出版会） 自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード 第2版（日総研） 看護場面の再構成 改訂版（日本看護協会出版会） 日常生活行動からみるヘルスアセスメント（日本看護協会出版会） 知識と実践がつながる看護学生のためのコミュニケーション Lesson（メヂカルフレンド社） 看護コミュニケーション、基礎から学ぶスキルとトレーニング（医学書院） 精神科看護の非言語的コミュニケーションUP術（メディカ出版） 患者の心に寄り添う聞き方話し方（メヂカルフレンド社） 日本臨床心理士会監修「ここに寄り添う災害支援」金剛出版 小林美希著「『ルポ看護の質』－患者の命は守られるか」岩波新書		
評価方法	①峯尾 50 点の内訳：定期試験 9 割 提出物、態度 1 割 ②安部 50 点の内訳：定期試験 7 割 レポート 3 割 ①②の合計点が最終評価		
関連科目	解剖生理学Ⅰ、Ⅱ、成人看護学総論 微生物学 心理学 社会学 人間関係論 各看護学		
自己学習に関する指針	患者との信頼関係の構築は、患者に必要な援助をするための基盤となります。自分は相手にどのような影響を与えているのか自己理解を深め、他者理解につなげていきましょう。 自分自身の日々の人間関係や新聞・テレビなどで報道される人間関係にまつわる様々な社会的事象に関心を持ってください。		
その他の通知事項	進行は理解の状況により変更することがあります。 随時質問に応じる。		